



学校長だより

No. 2 (平成 29 年 6 月 5 日)



花鳥風月を友として

青い空、飛びかうツバメ、心地よい南風に初夏を感じていましたが、汗ばむ日も多くなり、南国高知を感じるようになりました。学校の周辺では田んぼの水があふれんばかりとなり、あちこちにあじさいが今が主役と言わんばかりに咲き始め、近くの用水路沿線「あじさい街道」がにぎやかになってきました。自然の移り変わりで季節を感じることは、とても素晴らしい事だと感謝しながらも、日ごと強くなる日差しにこの夏の猛暑を予感し、自然は厳しくもあることを改めて知るのでした。

さて、早いもので、新学期が始まって2か月が経過し、1学期も折り返し地点を過ぎました。本格的な雨の季節が到来する前のこの時期は、年度当初の慌ただしさや緊張感から解き放たれて、学習も軌道に乗り、校内外の行事も多くなっています。これから、水泳の学習も始まります。熱中症などにも十分気をつけなくてはなりません。安全・安心に留意し、1学期のゴールをめざしてまいります。



もっと交流しよう！

5月9日に開催される予定だった特別支援学校・特別支援学級交歓会は、なんと4年連続の雨天中止となりました。当日の前日、次の日は晴天でしたが、運が悪いといしか言いようがありません。

しかし、今年は高知大学附属特別支援学校小学部の児童のみなさんが、当日スクールバスで来校し、本校の小学部とミニ交歓会を行うことができました。子どもたちの楽しそうな表情を見て、交流は大切だと改めて感じました。

そこで、今年の11月11日(ポッキーの日)に県ボッチャ協会と共催で「ジュニアボッチャ高知県大会」を本校で開催するよう計画しています。県下の特別支援学校の児童生徒が集い、交流を楽しみながら、ボッチャの普及と競技力の向上をめざします。土曜日開催となりますので、保護者の皆さまどうかご協力をお願いします。

スポーツの初夏！まつりの初夏！

行事の秋などと言いますが、クールビズが始まる青葉繁る季節は、本校・分校でスポーツなどの行事が目白押しでした。まず、子鹿園分校の運動会といえば5月。今年入学したピカピカの一年生も保護者や療育福祉センターの皆さんの大声援を背に、精一杯の力を発揮しました。土佐希望の家分校では今年度初めて親子運動会を25日に開催。場所はなんと春野町の障害者スポーツセンター！土佐希望の家の医師や看護師さんの全面協力体制のもと実施、楽しく一日を過ごすことができました。また、障害者スポーツ大会が春野運動公園で開催され、本校から8名の生徒がエントリー、金3つ、銀1つの大活躍でした。そして、最後はお祭りです。恒例「国立高知病院つくしままつり」が27日に開催され、分校のみなさんも楽しく参加、出店した即売品も早々に完売したとか、みなさんよく頑張りました。



中四肢P連総会大成功！

6月1日・2日の両日に行われた中国・四国地区肢体不自由特別支援学校PTA総会および校長研修会が盛会のうちに無事終了いたしました。本校・分校の保護者のみなさま、本当にお疲れさまでした。この大会の歴史を紐解きますと、記念すべき第1回の開催は若草、なんと第25回も若草、そして今回第50回ということで、不思議な巡り合わせと、特別な縁を感じながらの2日間でした。もちろん、第50回という歴史あるしかも節目の記念大会にふさわしく、素晴らしい大会となりました。

文部科学省特別支援教育課分藤調査官をはじめ、参加者の多くの皆さまからは、たくさんの感謝のお言葉をいただきました。これも保護者のみなさんが大会を成功させたいと強く願い、心からおもてなしをしようという気持ちが、参加された方々の心にしっかりと届いたからにちがいありません。主催校としてほっと胸をなでおろしながら、若草の校長であることに誇りを感じた2日間でした。

この大会を通して、本校と分校の距離が縮まり、保護者のみなさんと教職員が丸くなって取り組むことができたという達成感がありました。これからも本校と分校が交流する機会を増やし、絆を一層深めるとともに、それぞれのPTA活動をより活性化したい思いに駆られた大会となりました。

